

ジェスチャー操作可能なパーソナライズドスクリーンシステムを開発 ～スマートフォンの次に行く新たな情報取得方法の創出～

株式会社NTTドコモ(以下、ドコモ)は、ユーザーの状況に合わせて情報を表示し、ジェスチャーによる操作が可能なパーソナライズドスクリーンシステム(以下、本システム)を開発しました。ユーザーにとって必要な情報を、ユーザーが簡単に快適に利用できるようにするため、顔認証やスマートフォン連携、ジェスチャー技術などを用いて開発した情報表示システムです。

近年のスマートフォンの普及および機能の向上により、さまざまな情報がスマートフォン一つから得られるようになり、スマートフォンから情報を取得しようとする人が多くなりました。しかしながら、便利である反面、必ずしもスマートフォンが手元にあるとは限らなかったり、スマートフォンの画面は小さいため、見づらい、一度に見られる情報が限られる、複数人で共有しにくいなどの課題があったりします。

本システムでは、スマートフォンをしまっているとき、充電しているときなどでも、大画面のディスプレイから最適な情報を取得することができます。さらに、本システムを利用すると、基本的にはスマートフォンのように情報を自ら探しに行く必要がなく、顔認証によるユーザーの認識とそのユーザーのスマートフォンとの連携により、自動的にユーザーにとって必要な情報が画面に表示されます。また、大画面に情報が表示されることで、一気に多くの情報を得ることができます。

例えば、外出先ではスマートフォンから得ていた情報を、家では大画面のテレビや壁に映したプロジェクターなどから得ることができます。家族みんなが利用するときは、みんなで見るための情報を、一人になったときにはその人に合った情報を、それまで使っていたスマートフォンから利用履歴や行動履歴を取得し最適な情報を表示します。

操作をするためにリモコンやマウスを取りに行く必要はありません。ハンズフリーでのジェスチャー操作により、離れた場所から操作をすることができ、基本的な操作は片手でのグーとパーだけで行うことが可能です。カーソルの移動がパー、選択がグーなどシンプルで、複雑な操作を新たに覚える必要がないため、子どもでも直感的にご利用できます。操作可能な範囲にしかカーソルが行かないような設計、何度も手を動かすことなくスクロール操作できる設計、センサーの認識状況や操作方法が一目でわかる表示技術などを取り入れ、従来は使いづらさのあったジェスチャー操作の操作性を向上させています。

なお、本システムは、2017年11月9日(木)～11日(土)に日本科学未来館で開催するイベント「見えてきた、“ちょっと先”の未来 ～5Gが創る未来のライフスタイル～」への出展を予定しております。

ドコモは、今後もスマートフォンの次に行くデバイスやサービスを想定し、それらの登場に合わせた技術の開発により、お客様に新たな体験をしていただけるよう努めてまいります。

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先

株式会社NTTドコモ

移動機開発部 第二イノベーション推進担当

TEL: 03-5156-3786

「ジェスチャー操作可能なパーソナライズドスクリーンシステム」の概要

1. 概要

ユーザーにとって必要な情報を、ユーザーが簡単に快適に利用することができるというコンセプトのもと、ジェスチャーによる操作が可能で、ユーザーの状況に最適な情報を表示するシステムを開発いたしました。

2. 特徴

顔認証により、ユーザーに合わせた情報(ウィジェット)が並んだホーム画面を表示させます。家族皆が利用するときは皆で見るためのホーム画面、一人の時は個人用のホーム画面を表示します。

スマートフォン連携により、ユーザーに合わせて最適なウィジェットを表示します。スマートフォンの利用履歴などから関連情報を出したり、最適な通知などを行ったりします。

情報はプロジェクターや大画面ディスプレイ、テレビなどに映し出され、その操作はジェスチャー操作によって行います。基本的な操作は片手でのグーとパーだけで行うことができ、シンプルな操作で直観的にご利用できるようになっています。ジェスチャー操作の操作性を高めるさまざまな工夫により、操作性を向上させています。操作可能な範囲にしかカーソルが行かないような設計、何度も手を動かすことなくスクロール操作できる設計、センサーの認識状況や操作方法が一目でわかる表示技術などを取り入れ、誤動作しにくい、疲れにくい作りになっています。

3. イメージ図

